お客様用 取扱説明書

集合住宅システム 住宅情報盤用カメラ付ドアホン

TN51181②

HVDJ002B-U-F

製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも製品の不明点を解決できるように大切に保管してください。

■安全上のご注意

安全にお使いいただくために、下記の ⚠ 注意 を必ずお守りください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うか機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定されます。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

ドアホンは防滴仕様になっていますが、水を直接かけないでください。

汚れは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にひたし、よく絞ってから拭いてください。ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。

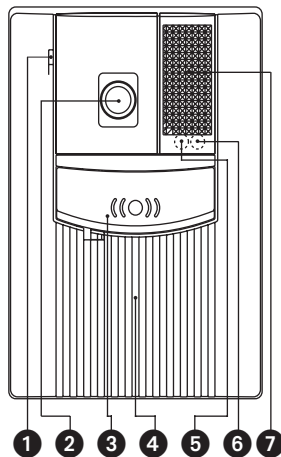
携帯電話、無線機などを近くで使用すると、誤動作の原因となることがあります。

ドアホンは、お住まいに設置された住宅情報盤と組み合わせて使用します。お住まいの玄関の外側から、チャイム音によって呼び出し、通話するインターホンとしての用途の他に、火災、ガスもれ、防犯（戸締まり）の異常などを、内蔵のスピーカーでお住まいの外へ警報するセキュリティー機能が備わっています。

セキュリティー機能は、設置されるシステムにより使用できないものもあります。設置されている機器をご確認ください。

■各部の名称とはたらき

❶マイク・・・・・・・・・・・・・室内との通話に使用します。
❷カメラ・・・・・・・・・・・・・通話時に玄関先の様子を映します。
❸呼出ボタン・・・・・・・・・室内を呼出す時および点検時に使用します。
❹スピーカー・・・・・・・・・室内との通話および警報の種類により、警報音および音声警報が鳴ります。
❺警報表示灯・・・・・・・・・警報時に赤色で点滅します。
❻通電表示灯・・・・・・・・通電中は緑色に点灯しています。
❼LED照明・・・・・・・・・・・夜間時に青色と黄色に点灯します。

※お住まいの住宅情報盤で鳴る呼出音は、その音色・回数により、建物入口の集合玄関機からのものか、ドアホンからのものかが判別できるようにセットされていますので、あらかじめ確認しておいてください。

■機器定格

電源電圧：DC12V[インターホン部]、DC24V[映像部]　通電表示電流：1mA
通話方式：自動交互通話

ドアホンからの警報、音声警報メッセージは、住居内の異常を知らせるものです。
警報表示灯が点滅した場合や警報が鳴った場合は落ちついて行動し、警報の原因を確かめて適切な対応をしてください。

■警報時のドアホンの動作

■警報内容　　警報時は警報表示灯（赤）が点滅します。
●警報音／◇音声警報メッセージ

■火災警報（火災確定時）
●ファンフォンファンフォンファンフォン
◇火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。
●ビュービュービュー

■ガスもれ
●ピッピッピッピッピッピッ　◇ガスもれです。

■非常通報
●ピーポーピーポーピーポー　◇緊急事態発生。

■防犯警報
●ピーポーピーポーピーポー　◇防犯装置が作動しました。

■トイレコール
●ポッポッポッポ　◇トイレに来てください。

■バスコール
●ポーポーポー　◇お風呂に来てください。

■コール
●ポロポロポロ

■その他警報
（換気警報、水もれ警報、火災感知器線断線、ガス漏れ検知器故障）
※　設備されたシステムにより、鳴動しないもの、鳴動・表示しないものがあります。

■故障かな？と思った時は…（アフターサービス）

正常な呼出しや通話ができない、不自然に表示灯が点灯・点滅するなど、故障と思われる場合は機器保証書をご確認のうえ、取付け工事をした施工店、もしくは下記のお問い合わせ先にお申し付けください。

●能美防災株式会社・CSサービスセンター　TEL：0120-102-408
●技術的なお問い合わせ
能美防災株式会社・第1技術部・火報管理課
TEL：(03) 3265-0232
●能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先

このドアホンには、基準に適合したことを示す適合マーク（SDマーク）が貼付されています。このドアホンに接続できるGP型3級受信機は次の通りです。下記以外と接続する場合には当社に確認してください。

種別	型式番号	型名
GP型3級受信機	受第19～7号	HAPGJ306-U/307-U
	受第19～7～1号	HAPGJ306-U-V/307-U-V
GP型3級受信機 （遠隔試験機能付）	受第20～4号	HAPGJ308-U/309-U
	受第20～4～1号	HAPGJ308-U-V/309-U-V

能美防災株式会社

本　社／〒102-8277　東京都千代田区九段南4-7-3　TEL.(03)3265-0211
支　社／北海道(011)746-6911　東　北(022)221-2695　新　潟(025)243-8121　丸の内(03)3213-1781
茨　城(029)225-2600　千　葉(043)266-0303　北関東(048)642-0147　西関東(042)643-1520
横　浜(045)682-4700　静　岡(054)247-3211　中　部(052)915-2411　長　野(026)227-5521
金　沢(076)252-6211　大　阪(06)6330-8661　神　戸(078)334-3581　京　都(075)694-1192
中　国(082)510-1125　岡　山(086)244-4222　九　州(092)712-1560　熊　本(096)360-1051
営業所／旭　川(0166)35-7824　青　森(017)729-0532　盛　岡(019)645-0552　秋　田(018)862-5086
郡　山(024)947-1194　福　島(024)528-4195　上　越(0255)26-1886　羽　田(03)5757-9393
渋　谷(03)3461-1051　杉　並(03)3306-0451　城　東(03)3626-2461　五反田(03)3779-9737
土　浦(029)822-3851　宇都宮(028)637-4317　群　馬(027)328-1567　埼玉西(049)247-4640
川　崎(044)233-5773　沼　津(055)923-9669　浜　松(053)473-3422　岐　阜(058)276-7761
三　重(059)226-9860　富　山(076)444-1450　福　井(0776)21-0056　四　国(087)868-6811
北九州(093)583-3344　長　崎(095)845-0135　大　分(097)543-2778　宮　崎(0985)28-8792
鹿児島(099)253-8196　沖　縄(098)862-4297
工　場／三　鷹(0422)44-5141　メヌマ(048)588-1531

NOHMI

工事店様用 工事説明書

集合住宅システム 住宅情報盤用カメラ付ドアホン HVDJ002B-U-F

■安全上のご注意

安全にお取り付け使いいただくために、下記の⚠警告 ⚠注意を必ずお守りください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷や傷害を負うか機器の機能に重大な影響を及ぼす可能性が想定されます。

取り付けの際に、既設のチャイム線などを利用する場合、交流100Vが通電されている場合がありますので、必ず電気工事店などの専門の知識を持った人に依頼してください。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負うか機器の機能に悪影響を及ぼす可能性が想定されます。

電源を入れた状態で配線・取付け・結線をしないでください。

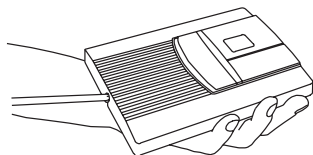
配線の被覆をむく時に、銅線にキズをつけないでください。銅線が折れて差し込み端子から取れなくなることがあります。

■梱包箱内の付属部品など

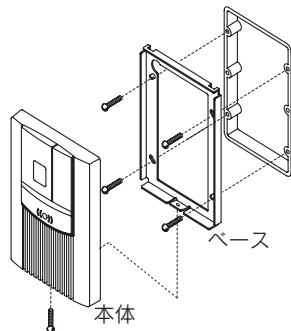
梱包箱の中には次の付属部品が入っています。梱包箱を開けた際には、まず付属部品が揃っているか確認してください。

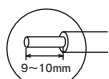
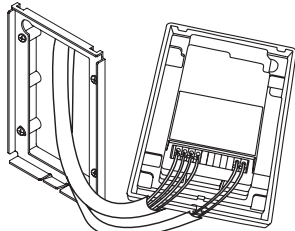
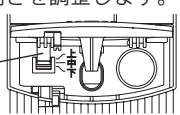
◆取扱／工事説明書（本書）・・・・・・・・1　◆機器保証書・・・・・・・・・・・・・・1
◆Mネジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4　◆防塵ビニール・・・・・・・・・・・・1
◆カラーモニター付住宅情報盤接続用コネクタケーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

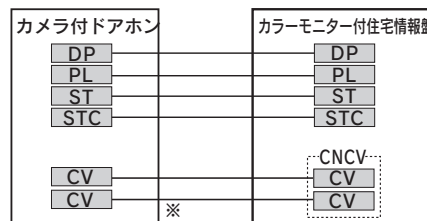
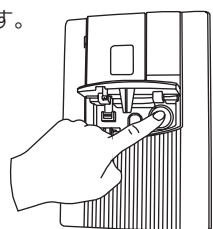
■取り付け方法

カメラ付ドアホン（HVDJ002B-U-F型）の取り付けは、壁面・埋込式です。取り付ける前に、本体からベースをはずしてください。

❶本体底面にあるネジをドライバーでゆるめます。

❷本体下部を手前に引くようにしてベースをはずします。

❸ベースを付属のネジで埋込ボックスに取り付けます。

■埋込ボックスは JIS・3個用スイッチボックスを使用

❹弱電流線を本体の各ターミナル端子に差し込み、接続します。

◆弱電流線の被覆のむき長さは、9～10mmとしてください。

◆弱電流線をターミナル端子から抜く場合は、マイナスドライバーで「解除ボタン」を押しながら線を引き抜きます。

❺各線の接続後、本体をベースにかぶせ、上部のロック（2ケ所のツメ）がかみ合ったことを確認してから、本体底面にあるネジを締めて止めます。

■接続方法

※カラーモニター付住宅情報盤接続用コネクタケーブルを使用

■カメラの角度調整方法

❶マイナスドライバーなどを用いてストッパーつまみを左にスライドします。

❷ストッパーつまみ右側の開口にマイナスドライバーなどを挿入し、下側に倒すようにして呼出しボタンを開けます。

下側に倒す

❸カメラ角度調整つまみにてカメラの向きを調整します。
［上中下３段階に調整可能］

カメラ角度調整つまみ

❹呼出ボタンをゆっくりと閉め、ストッパーつまみを右側にスライドします。ストッパーつまみが左側にあり赤いシールが見えている状態ですと呼出ボタンが押せません。

■警報機能の確認方法

❶マイナスドライバーなどを用いてストッパーつまみを左にスライドします。

❷ストッパーつまみ右側の開口にマイナスドライバーなどを挿入し、下側に倒すようにして呼出しボタンを開けます。

❸戸外表示器試験スイッチを押します。

❹カメラ付ドアホンの警報表示灯が赤く点滅し、住宅情報盤では警報を出さず、カメラ付ドアホンで火災警報（ファンフォンファンフォンファンフォン “火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。”ビュービュービューの警報）が一度鳴ります。
※警報中に再度スイッチを押すと警報は止まります。

❺カメラ付ドアホンの警報が止まり、平常状態（緑色の通電表示灯のみ点灯）に戻ります。
呼出ボタンをゆっくりと閉め、ストッパーつまみを右側にスライドします。ストッパーつまみが左側にあり赤いシールが見えている状態ですと呼出ボタンが押せません。